



基本理念

私たちみんなの夢——

それは、大きな成長の可能性を持った一粒のひまわりの種から大輪の花を咲かせること。

私たちは、地域の「今」をまっすぐ見つめ、この場所を未来を切り拓く大きな大地に変えていきます。

私たちは、同じ志を持ち続け、この場所が認め励まし、思いやりが根づく大地となることを目指します。

私たちは、保護者と共に歩みながら、この場所を人と人との絆が生まれるあたたかな大地にしていきたいです。

教育保育理念

認め・励まし・感謝する思いやりの心を育む

教育保育目標

明るく元気な子 情緒豊かなやさしい子 最後まで頑張る子

すみきった青空にさわやかな初夏の風を受け、子ども達が掲げた鯉のぼりが元気に泳ぐ中、園庭では子ども達の元気な声が賑やかな今日この頃です。入園から早ひと月が経ち、わくわく！どきどきでスタートした園生活。お友達、保育室全てが新しい環境の中をものともせず、すぐに友達を見つける子、遊びに集中する子、仲間を遊びに誘う優しい子、沢山の思いやりも見つけることができました。素敵な子ども達を褒めて、認め、励まし、日々の成長につなげていきたいと思ひます。また保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげで園生活をスムーズに進めることができました事に感謝申し上げます。今月は様々な活動を通して3・4・5歳の連携、また小学校への接続を大切に、子ども達が意欲的に取り組めるように保育教育をしっかりと行っていきたいと思ひます。

5月の
ねらい

★元気なあいさつをしよう

★お友達や保育教諭と楽しく元気に遊ぼう



今月の行事



9日	火	避難訓練
11~12日	木・金	蟻虫、尿検査提出日
12日	金	クラブ開講式(5歳児)
18日	木	お弁当会
23日	火	参観日(にじ組)3歳児
24日	水	参観日(そら組)4歳児
25日	木	参観日(ほし組)5歳児
31日	水	お楽しみ会

参観日のお知らせ!

子ども達も園生活に慣れ早1ヶ月が経ちました。年間行事計画で予定しております、保育参観日は、クラス事に日程を調整しております。お忙しいところ恐れ入りますが是非子供たちの園生活を参観頂けるようよろしくお願い致します。詳細は後日お知らせ致します。

【毎週の活動】 月曜日…体育活動 火曜日…エイサー指導 金曜日…クラブ活動(5歳児)

29日~31日 身体測定

鯉のぼり掲揚式!

4月21日(金)うるま市庁舎の鯉のぼり掲揚式に天願こども園、あげなこども園の5歳児が参加してきました。市の行事に参加する事で市長、教育長、多くの方に見守られ成長をしていく事の大切さを学んだ5歳児クラスのこどもたちでした。又こども園でも全園児で鯉のぼりを掲揚しました。掲揚式当日はこどもたちの元気な歌声に掲揚された鯉のぼりにこどもたちの歓声が響き渡りました。泣いている子も空を見上げゆうゆうと泳ぐ鯉のぼりにいつのまにか笑顔に!



保護者の皆様へ発信!

こども園では園生活のこどもたちの姿を知る、見る、聞く事で子ども達の育ちを理解、確認できるように金曜日にコドモンにて発信しています。遊びの中から、発見、気づき、声、を拾い、こどもたちの姿を写真入りで記録配信していきます。園での環境、遊びの中から子供たちの魅力を引き出していきたいと思えます。又こどもたちの可愛いエピソード等も配信いたしますね。

畑(土)作りから始まる菜園活動!

菜園活動がスタート!天願小学校の校長先生はじめ職員の方が耕運機を入れてくれた後、ほし組の子ども達が雑草抜きや土耕し畑づくりを行いました。子供たちは虫を見つけると意気込んで土を掘り起こしていたら、「何と!出てきたのは3月に掘り残されたじゃが芋でした!それには皆びっくり!」その後はじゃがいも掘りになり子供たちの楽しそうな笑い声が聞こえてきました。様々な発見を楽しむ子ども達。また、クラスのお友達みんなで力を合わせて整備することで、「みんなでがんばろう!」というお友達との絆も深まった様です。早速5歳児クラスが夏野菜のゴーヤー、きゅうり、すいかの苗植えを行いました。又3、4歳児はプランターでのミニトマト、枝豆、葉野菜を自分達で育て、収穫までの過程を今からワクワク期待している子ども達です。四季折々の菜園活動を充実させ、健康的に生活していける食を営む力の基礎を培う事を目標に、食育の一環として各年齢にあった菜園活動を頑張っていきます。



こども家庭庁が発足

「こども」に関する政策を一元的に進める新省庁「こども家庭庁」が4月1日に発足しました。「子どもまんなか社会の実現に向け、何よりも大切なのは子どもの意見を聞き、受け止め施策に反映させること。」子どもの中にある人間の素晴らしさ、美しさ、尊敬の念を持って受け止めるようにこれからも教育保育の意識を高めていきたいとおもいます。

命の大切さをしる!

先月こども園に仲間入りした、ヤギが亡くなってしまいました。子どもたちにどう説明したらいいか、悩みましたがこどもたちには命の大切さ、生きていることの大切さを知ってほしく正直に話しました。中には涙ぐむ姿も見られましたが、子供たちがしっかりと現実と向かい合い命の大切さを学んだ時間でした。